



復興大学災害ボランティアステーション 主催シンポジウム

# 人と社会の脆さと 大学生ボランティアの意義



2012年12月14日(金)～15日(土)  
東北学院大学土樋キャンパス

参加無料

申込不要

主催：復興大学災害ボランティアステーション（参加大学は裏面）

共催：大学間連携災害ボランティアネットワーク（参加大学は裏面）

協力：東北学院大学災害ボランティアステーション



「復興大学」は、大震災直後、仙台学長会議が復興の担い手となる青年に対して大学等高等教育機関が出来ることは何かを問い、学都仙台コンソーシアムで実施案を立案し、文部科学省の大学復興センター構想の一つとして承認されたものです。

その中で「復興大学災害ボランティアステーション」は、被災地支援活動における様々なミスマッチを低減させると同時に、地域間連携と地域内連携をつなぐ仕組みの実現に向けた復興支援センター的な機能を持つネットワーク組織の構築を行うことを目的としております。

# 人と社会の脆さと大学生ボランティアの意義

いつまでも続く余震。それは今という時間が、3.11の「あとの時間」であることを否応なく認識させる。そして、私たちの社会が、大きな災害がいつまた来てもおかしくない「時代」に入ったという直観を私たちに与える。であれば、だれもが社会と人間の「脆さ」に向き合わなければならない時代が始まっているように見える。

被災の現実に向き合う「災害ボランティア」は、その性質上、この「脆さ」に直接、触れないではいけないものである。実際、3.11以降に行われた様々なボランティアがそうであった。がれき撤去の活動であれば、建造物の脆さに、たとえば傾聴ボランティアであれば、ひとの心の脆さに触れないではいけない。そして他者の脆さに触れる活動員は、ときに自らの脆さを知ることにもなるだろう。

脆さにじかに触れないではいけない活動としてのボランティア。社会に出る一歩手前にいる大学生がそうした活動をするこの意味は何だろうか。

それは当の被災者/地域社会に何をもちたらしめるのだろうか。また、当人に何をもちたらしめるのだろうか。

そして、するか、しないか、それは自由の問題だろうか。

本シンポジウムはこれらのことを問いなおすだろう。「脆さ」に向き合わないではいけない時代にあって、それは必要な作業だと信じるからだ。

## タイムスケジュール

### 1日目 12月14日(金)

8号館5階押川記念ホール

#### 12:00~13:00

参加大学によるポスターセッション・パネル展示  
(8号館3階第1・2会議室)

#### 13:00~開会

沢田 康次(東北工業大学学長)挨拶  
佐々木俊三(東北学院大学災害ボランティアステーション所長)挨拶

#### 13:15~講演「大学生ボランティアの意義」

1. 村井 雅清(被災地 NGO 協働センター理事)
2. 牧田 東一(桜美林大学リベラルアーツ学群教授・サービスラーニングセンター長)
3. 喜久里 要(文部科学省高等教育局私学助成課課長補佐)

#### 15:30~17:30 ラウンドテーブル

報告  
伊知地 亮(復興庁ボランティア・公益的民間連携班 政策調査官)  
野田 祐機(公益社団法人 助けあいジャパン代表理事)  
指定討論者  
村井 雅清(被災地 NGO 協働センター理事)  
牧田 東一(桜美林大学基盤教育院教授・サービスラーニングセンター長)  
喜久里 要(文部科学省高等教育局私学助成課課長補佐)  
伊知地 亮(復興庁 ボランティア・公益的民間連携班 政策調査官)  
野田 祐機(公益社団法人 助けあいジャパン代表理事)  
ボランティア活動参加大学生2名(早稲田大学、東北学院大学)  
コーディネーター  
宮本 直規(東北学院大学教養学部講師)

#### アクセスマップ



### 2日目 12月15日(土)

8号館3階第3会議室~第4会議室

#### 10:00~11:00

参加大学によるポスターセッション・パネル展示  
(8号館3階第1・2会議室)

#### 11:00~12:30 セッション1

「大学生にとってのボランティアの意義・課題・可能性(1)」

報告者 ボランティア活動参加大学生の発表  
東北大学、中央大学、宮城教育大学、早稲田大学、神戸学院大学  
東北福祉大学、宮城学院女子大学、仙台白百合女子大学、名古屋学院大学

#### 12:30~13:30

参加大学によるポスターセッション・パネル展示  
(8号館3階第1・2会議室)

#### 13:30~15:00 セッション2

「大学生にとってのボランティアの意義・課題・可能性(2)」

報告者 ボランティア活動参加大学生の発表  
西南学院大学、青山学院大学、関西学院大学、明治学院大学、広島修道大学  
桜美林大学、尚絅学院大学、東北学院大学

#### 15:00~15:10

閉会  
佐々木 俊三(東北学院大学災害ボランティアステーション所長)挨拶

#### 16:00~18:00

復興大学災害ボランティアステーション主催  
災害ボランティアスキルアップセミナー第6回(最終回)  
(5号館4階541教室)  
「持続的な復興支援活動に向けて  
~大学における Service-Learning と Civic Engagement の可能性」  
市川 享子(明治学院大学ボランティアコーディネーター)

#### 参加大学一覧

復興大学災害ボランティアステーション参加大学(学都仙台コンソーシアム加盟大学)  
東北大学、宮城教育大学、宮城大学、石巻専修大学、尚絅学院大学、  
仙台大学、仙台白百合女子大学、東北工業大学、東北生活文化大学、  
東北生活文化短期大学部、東北福祉大学、東北文化学園大学、  
東北薬科大学、宮城学院女子大学、東北芸術工科大学、  
放送大学宮城学習センター、聖和学園短期大学、宮城誠真短期大学、  
仙台青葉学院短期大学、仙台高等専門学校、東北学院大学  
大学間連携災害ボランティアネットワーク参加大学  
青山学院大学、明治学院大学、関西学院大学、中央大学、名古屋学院大学、  
麗澤大学、中部学院大学、桜美林大学、立命館大学、山形大学、西南学院大学、  
熊本学園大学、神戸学院大学、広島修道大学、敬和学園大学、  
鈴鹿医療科学大学、甲南大学、早稲田大学、追手門学院大学、北海学園大学、  
玉川大学、大学コンソーシアムひょうご神戸(コンソーシアム加盟大学)  
現在 84校が参加

お問い合わせ

復興大学災害ボランティアステーション

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 東北学院大学土樋キャンパス内大学院棟2階26教室

TEL: 022-264-6522 FAX: 022-264-6523 (受付対応時間: 平日 11:00~16:00)

MAIL: [revolu@tscc.tohoku-gakuin.ac.jp](mailto:revolu@tscc.tohoku-gakuin.ac.jp)

ホームページ: <https://www.fukkou-daigaku-volunteer.jp/index.aspx>